

地方創生伴走支援制度報告会

全体中間報告

令和7年10月1日



地方創生伴走支援制度 全体活動概要

令和7年10月

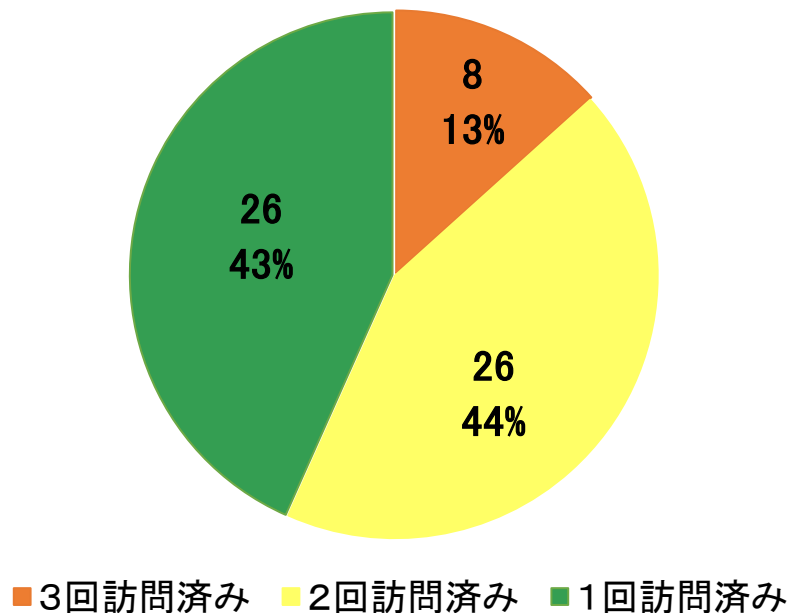


地方創生伴走支援チームの活動状況(4月9日～9月26日)

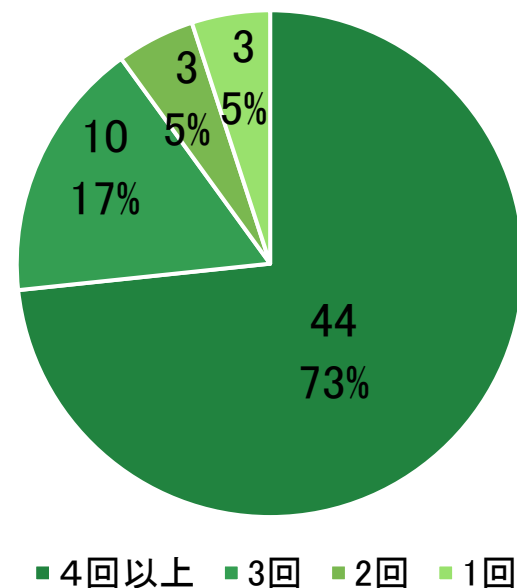
○7月上旬までに全チームが現地訪問を実施。34チーム(57%)は複数回訪問。

○44チーム(73%)がオンライン会議を4回以上実施。伴走支援チームに対し各種後方支援を実施。

① 現地訪問実施チーム数



② オンライン会議実施チーム数

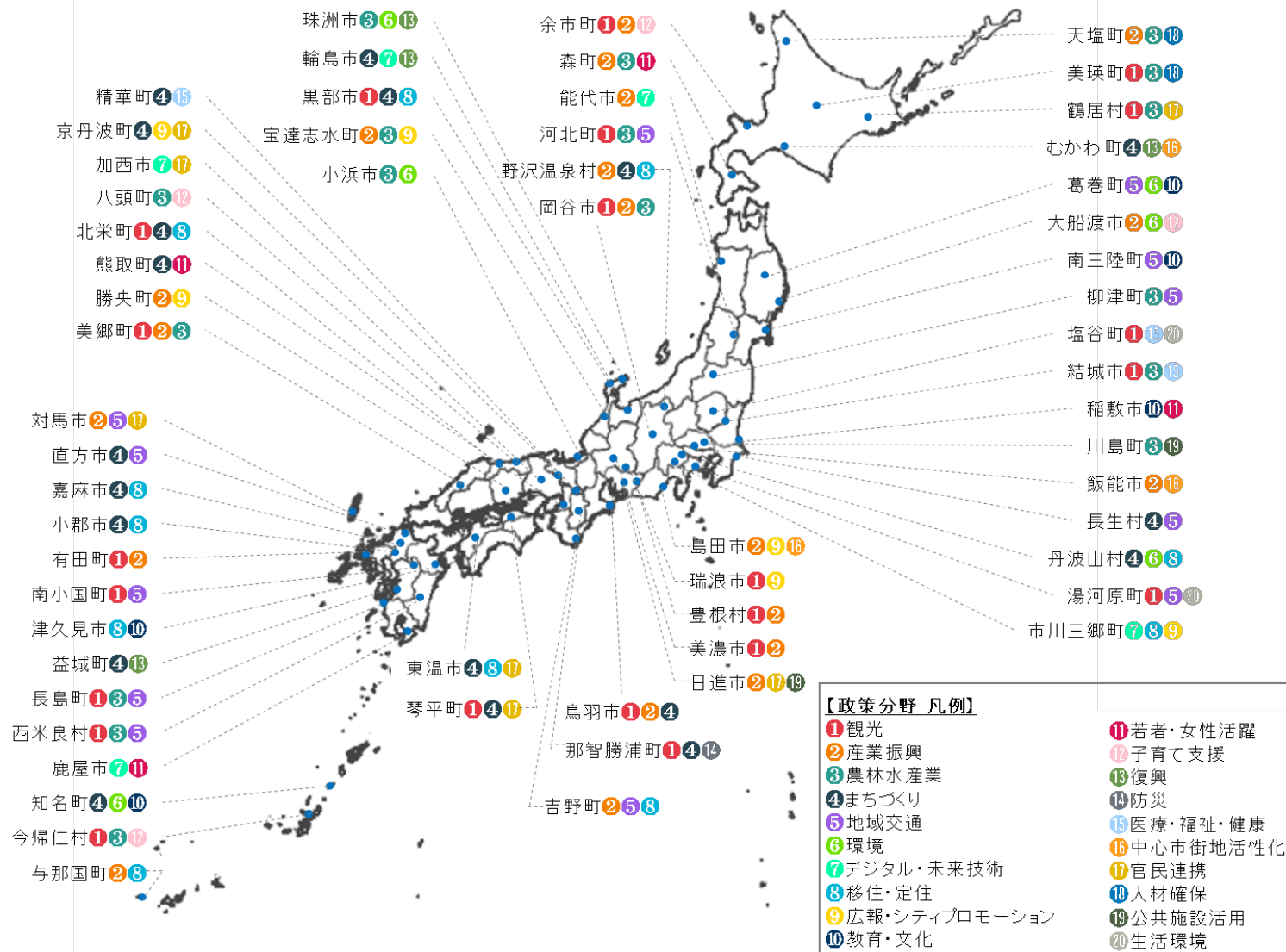


③ 後方支援等

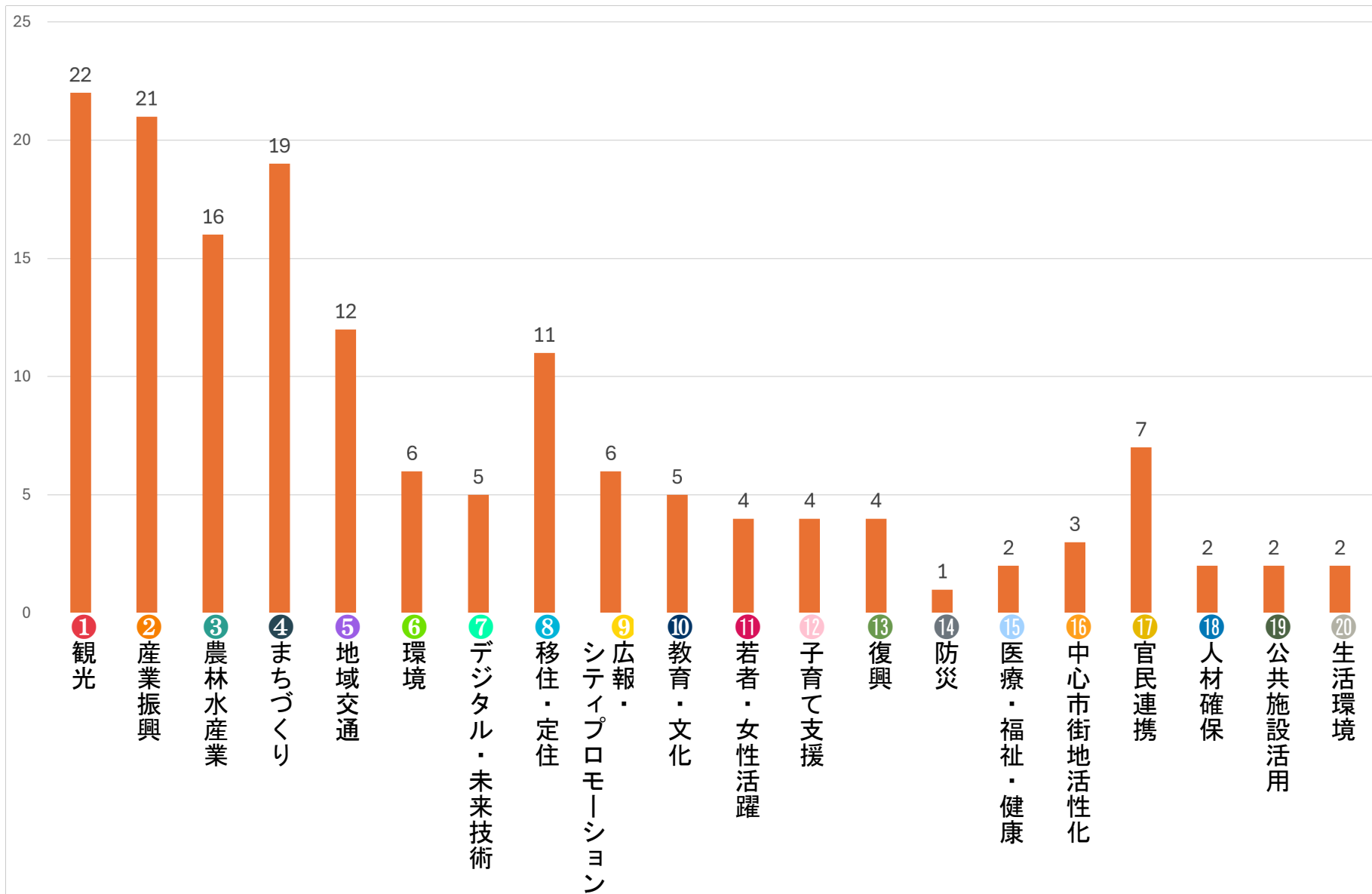
- ・伴走支援チームの依頼に応じ、支援先市町村の課題に関する政策ツール、支援制度や各省担当窓口等を、内閣府ブロック担当が各府省庁に照会し情報提供。
- ・市町村とのオンライン会議に地方整備局の空き家制度等の担当者が参加。
- ・伴走支援チームによっては、現地訪問時、県庁や地方支分部局も訪問し人的ネットワークを形成。

地方創生伴走支援チーム 支援政策分野

- 60チームそれぞれ、多様な政策分野からなる地域課題を支援テーマと設定して伴走支援
- 主な構成政策分野は、観光①(22チーム)、産業振興②(21チーム)、まちづくり④(19チーム)



地方創生伴走支援チーム 支援政策分野 ※重複を含む。



○4月発足当初から数多くの多様なメディアにおいて報道。国・地方の顔の見える関係構築に寄与。

○顔合わせや現地視察の記事から、**各チームのテーマや活動内容、国職員の働き方等に焦点を当てた報道へ。**

① 新聞等紙媒体

全国紙： 3紙、14本以上

「180人の参謀たち」(6月7日、読売新聞、野沢温泉村T)等

「八頭の子育て 意見交換 母親と町職員 「地方創生支援」一環」(9月18日、読売新聞、八頭町T)

・地方紙： 27紙 40本以上

「精華町 福祉ボランティア担い手不足 国の職員が「伴走支援」」(8月22日、京都新聞、精華町T)

「地方伴走支援、各地で芽 首相肝いり「住民参加促進を」」(共同通信配信、9月12日、地方紙多数、小浜市T)

② テレビ等映像メディア

全国放送5局、22本以上

「函館発 官僚3人が森町へ「地方創生」の手がかりは」(6月18日、NHKおはよう日本、森町T)

「「地方創生」へ支援 霞が関官僚が自治体に“伴走”」(6月14日、日本テレビ、大船渡市T) 等

地方局7局、8本以上

「官僚が伴走支援 丹波山村で開始 国の新たな取り組み」(山梨放送、4月30日、丹波山村T)

③ ネットメディアその他

13本以上

「「地方創生へ伴走支援市町村を倍増＝地域課題解決へ官僚が後押し―政府」(9月11日、時事iJAMP)

霞が関ノート「官僚がトリオで地域課題解決、60市町村で「副業」働きがい向上へ」(9月14日、日経新聞電子版、吉野町T)

地方創生伴走支援チームの活動評価

○自治体からの全体評価は**平均4.6(5段階評価)**。翌年度以降の継続的な活動を求める声も多い。

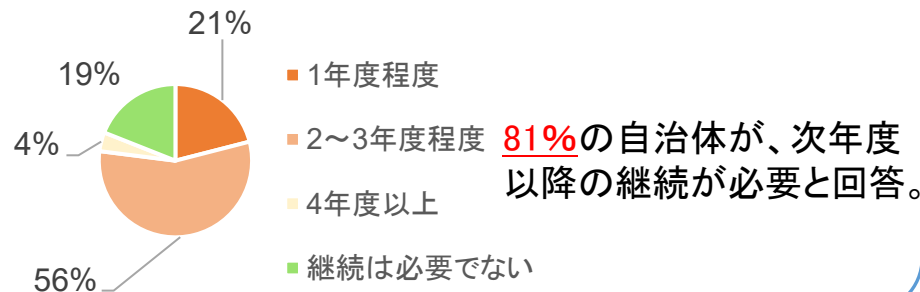
○支援官自身も全体評価は**平均4.3**。約9割が地方創生の現場に携われることを評価。

① 市町村の評価(回答数:57)

伴走支援チームのこれまでの取組について、全体としてどのように評価していますか。5段階評価で回答してください(5(良い)～1(悪い))。



貴団体における伴走支援チームの取組について、次年度以降も継続が必要と考えますか。また、継続する場合、何年程度必要と考えますか。



③ 後方支援等の評価

内閣官房・内閣府は、伴走支援チームの依頼に応じ、支援先市町村の課題に関する政策ツール、支援制度や各省担当窓口の情報提供などの後方支援を行っているが、**支援官のうち約3割がこうした後方支援等について、「わからない、活用したことがない」と回答**。今後、既存の枠組みの周知活用、支援事例やチーム間の情報共有などを通じた後方支援の強化が重要。

② 支援官の評価(回答数:125)

これまでの伴走支援活動を踏まえ、地方創生支援官になったことをどう評価していますか。5段階で回答してください。(5(良い)～1(悪い))



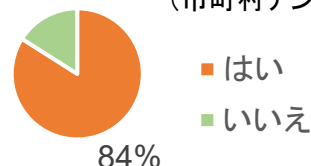
全体評価の理由(複数回答)	回答数	割合
地方創生の現場に携わることができるから。	116	92.8%
多様な人材とチームで取り組めるから。	77	61.6%
国での業務に活かせる気付きがあるから。	57	45.6%
市町村に評価される活動だから。	36	29.0%
専門性を活かせるから。	28	22.4%
勤務時間の1～2割を活用して取り組めるから。	16	12.8%
業務負担が大きいから。	12	9.6%
専門性を活かさないから。	8	6.4%
チームでの取組が困難であるから。	6	4.8%
国での業務に全く関係ないから。	4	3.2%
市町村に評価されないから。	2	1.6%
地方創生の現場に携われないから。	2	1.6%

- 多様な支援先市町村での伴走支援チームの取組はいわゆる「触媒」として地域の活性化を起こしやすくする。
- 活性化に向けて、伴走支援チームでは、新たな視点の提供、スピード感ある対応や、「よそ者」として関係者をつなぎ「産官学金労言士」の実質化などの役割を発揮。

① 伴走支援により生じた庁内の変化

伴走支援チームと取り組む中で、貴団体内において、何か変化が16%生じたありましたか。

(市町村アンケートより)



(市町村の声)

- 国との関係がより身近に感じられるようになった。
- 課題への対応に対して以前より意欲的に取り組めるようになった。
- 県や近隣自治体の中で完結していた課題意識を、全国からの視点に置き直すという意識が生まれるきっかけになった。
- 支援官の業務に対する姿勢やスキル等に良い刺激を受け、業務に対する姿勢に変化がみられる職員がいた。
- 地方創生伴走支援制度への注目度の高まりにより、メディア密着取材を受けるなどマスコミから注目された。
- 国が進めようとしている地方創生2.0のビジョンが浸透してきた。
- 庁内の課が横断して村の課題感を共有し、解決に向けて取り組む姿勢ができてきた。
- これまで以上に、行政と町民、事業者が課題を共有し、ともに取り組む意識が持っている。

② 今後見込まれる成果・地方創生2.0の実践

(支援官アンケートより)

【今後見込まれる成果】

- ・ 初年度として、組織の立ち上げやブランド化
- ・ 企業と連携したその地ならではの官民連携事業
- ・ 国の支援制度等を活用した事業推進
- ・ 次年度以降の事業実施に向けた方向性の確立や実証事業の可否
- ・ 単年度で取り組める政策文書の改定 等

【地方創生2.0(基本構想の政策5本柱)の実践】

- ・ 「産官学金労言士」をつなぎ、連携した取組
- ・ 「好事例の普遍化」、課題の共有
- ・ 「若者・女性にも住みやすい」まちづくり
- ・ 意欲・能力のある企業等「民」の力の導入活用
- ・ 地域資源の「新結合」、イノベーションの創出
- ・ 「関係人口」の創出
- ・ 「AI・デジタル」など新技術の徹底活用

ブロック	支援市町村	支援テーマ	政策分野
北海道	森町(北海道)	森林資源×地域産業の可能性を広げるためのミズナラを活用した洋酒樽生産への挑戦など、町の資源を活かした取組への伴走支援	②③⑪
	余市町(北海道)	ソーラン節発祥の地・余市町の魅力発信！～ワインを核とした食の魅力を発信、町内外の人々の新たな交流拠点づくり～	①②⑫
	美瑛町(北海道)	産官学金労言で実現する「生きるが、映える。」：丘のまち美瑛町の持続可能な農業と観光の共存に向けて	①③⑬
	天塩町(北海道)	新たな営農担い手確保・創出のための官民協働での「天塩型放牧酪農スタイル」による担い手確保・人材育成～酪農事業承継モデル構築	②③⑬
	むかわ町(北海道)	北海道胆振東部地震からの創造的復興・創生へ！北海道むかわ町の多核共創による未来へつなぐまちづくり	④⑬⑯
	鶴居村(北海道)	「日本で最も美しい村タンチョウの故郷の挑戦～日本初の官民連携で取り組む本格的なアドベンチャー・トラベル事業へ～」	①③⑰
東北	大船渡市(岩手県)	サーキュラーエコノミーポートを目指した産業振興と子育てにやさしい三陸の賑わい拠点へ	②⑥⑫
	葛巻町(岩手県)	人口減少に伴う地域交通や教育課題の解決&再エネの地産地消に挑む北緯40度ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち、葛巻町	⑤⑥⑩
	南三陸町(宮城県)	少子化・人口減少を克服し、地域の教育を守る高校魅力化の取り組み～学校と地域が総力を結集し、南三陸の特色を活かした教育を～	⑤⑩
	能代市(秋田県)	宇宙×水素で拓く、技術とエネルギーの街、能代。	②⑦
	河北町(山形県)	空と陸から川のほとりの温泉と豊かな大地で育まれた美味しい農産物の町への誘客	①③⑤
	柳津町(福島県)	赤べこ発祥の地で、除雪対策と林業振興に取り組む	③⑤
関東	結城市(茨城県)	地域商社の観光×農業×ヘルスケア事業「法人向けウェルビーイング・リトリート in 結城」の企画支援	①③⑮
	稲敷市(茨城県)	霞ヶ浦湖畔の町の主役は高校生！市内の高校を核とした地方創生に向けた伴走支援	⑩⑪
	塩谷町(栃木県)	自然に癒され人に寄り添い、安心・便利で豊かな未来を育む塩谷町～挑戦を力に変えて、小さな町に大きな感動を！！～	①⑮⑳
	飯能市(埼玉県)	「ムーミンに会えるまち、はんのう」の挑戦～商店街活性化を中心に、地域に元気を与えます！～	②⑯
	川島町(埼玉県)	廃校利活用の方針策定と農業政策の立案に関する伴走支援	③⑱
	長生村(千葉県)	千葉県唯一の村の駅「八積駅」から始めるまちづくり～これからも暮らし続けたい村を目指して～	④⑤
	湯河原町(神奈川県)	にぎわいあふれる「梅の宴」を全国有数の温泉街で～公共交通の確保に向けた伴走支援～	①⑤⑳
	市川三郷町(山梨県)	『住み心地の良い町』日本一になるためには？市川三郷町における広報活動	⑦⑧⑨
	丹波山村(山梨県)	人口500人の関東一小さな村でともにチャレンジ！「住みたい田舎No.1」を目指すローカルSDGsのまちづくり	④⑥⑧

【政策分野 凡例】

①観光②産業振興③農林水産業④まちづくり⑤地域交通⑥環境⑦デジタル・未来技術⑧移住・定住⑨広報・シティプロモーション⑩教育・文化
⑪若者・女性活躍⑫子育て支援⑬復興⑭防災⑮医療・福祉・健康⑯中心市街地活性化⑰官民連携⑱人材確保⑲公共施設活用⑳生活環境

支援テーマ(2/3)

ブロック	支援市町村	支援テーマ	政策分野
中部	黒部市(富山県)	黒部市に最適な関係人口創出のための伴走支援～人と人とを黒部で繋ぎ、関係人口、交流人口に溢れた人情味の街に～	①④⑧
	輪島市(石川県)	令和6年能登半島地震と令和6年奥能登豪雨、二つの連続する災害からの復旧・復興～課題の掘り起こしと現場の声を踏まえた支援	④⑦⑬
	珠洲市(石川県)	「復興への光～里山里海の営みの再生をベースとした新たな地域づくり～」	③⑥⑬
	宝達志水町(石川県)	ビーチ走る愛車×至極のイチジク×オムライス！？魅力潜在の自然豊かな町をリブランディング。知名度向上で人を呼び込む	②③⑨
	小浜市(福井県)	持続可能な農林水産業の実現に向けて～豊かな自然環境を生かした米作りへの挑戦～「御食国若狭おばま」の取組	③⑥
	岡谷市(長野県)	日本の真ん中・諏訪湖畔にある「うなぎとシルクとものづくりの街」長野県岡谷市の地方創生の取り組み	①②③
	野沢温泉村(長野県)	100年先の未来図から今に立ち向かう～温泉と共に紡ぎ続けた暮らしと文化を村民と共に未来へ遺すために～	②④⑧
	美濃市(岐阜県)	1300年の技術と伝統を誇る美濃和紙の新たな展開に向けた伴走支援	①②
	瑞浪市(岐阜県)	化石も中山道も茶碗も自然も、瑞浪の魅力を発信！日本に、世界に届け！	①⑨
	島田市(静岡県)	“まだまだ島田”～まちなか活性&緑茶化計画～	②⑨⑬
	日進市(愛知県)	日進月歩の伴走支援が生み出す、大学、企業、行政共演のまちづくり	②⑦⑱
	豊根村(愛知県)	愛知県のてっぺんってどこ？～人口900人の村の交流人口の更なる高みを目指して～	①②
近畿	鳥羽市(三重県)	「美し国みえ」の美味しい宿泊地、三重県鳥羽市！海のもたらす恩恵と、海の脅威に向き合う地方創生	①②④
	精華町(京都府)	持続可能な地域共生社会とは？ ～京都南西端けいはんな学研都市「精華町」の担い手を考える～	④⑮
	京丹波町(京都府)	想いでつながるまち京丹波町 地域・企業との協働による持続可能なまちづくり	④⑨⑰
	熊取町(大阪府)	女性や若者が集まるような街づくりを目指して～泉州地域にある「子育て・教育」の街、熊取町の地方創生の取り組み	④⑪
	加西市(兵庫県)	デジタル化で地域課題解決！官民両輪で進めるスマートシティ～「かさい『ミライナカ』計画」実現に向けて～	⑦⑰
	吉野町(奈良県)	「挑戦の地」吉野！桜・林業・修験道・手漉き和紙などあふれる資源をいかした「まちの賑わいづくり」を目指して	②⑤⑧
	那智勝浦町(和歌山県)	南海・東南海トラフ地震などの災害時にも平時にも、訪れる人々が便利で安全・安心に暮らせる那智勝浦を目指したまちづくり	①④⑭

【政策分野 凡例】

①観光②産業振興③農林水産業④まちづくり⑤地域交通⑥環境⑦デジタル・未来技術⑧移住・定住⑨広報・シティプロモーション⑩教育・文化
⑪若者・女性活躍⑫子育て支援⑬復興⑭防災⑮医療・福祉・健康⑯中心市街地活性化⑰官民連携⑱人材確保⑲公共施設活用⑳生活環境

支援テーマ(3/3)

ブロック	支援市町村	支援テーマ	政策分野
中国	八頭町(鳥取県)	多くの子どもたちに出会い、美味しい果物を作り続けられるまちづくりにより、笑顔あふれる楽しい八頭町の実現を目指す	③⑫
	北栄町(鳥取県)	国民的人気漫画のファンを北栄町ファンへ～人づくり、場づくり、仕組みづくりを通して～	①④⑧
	美郷町(島根県)	賑わいあふれる町を目指したジビエ&ゼロカーボン農業2.0の展開	①②③
	勝央町(岡山県)	岡山甘栗のブランド化:和栗より糖度が高く、希少な国産甘栗を、日本や世界の方に味わっていただく!!!	②⑨
四国	琴平町(香川県)	江戸の昔、人は全国から海を渡り、こんぴらさんを目指した。～宿泊税導入で琴平町を世界から選ばれる町へ～	①④⑪
	東温市(愛媛県)	“地の利”と“知の力”で 未来を築くまち 東温 ～市政骨格の「総合計画」策定に伴走する～	④⑧⑪
九州	直方市(福岡県)	人とまちを結ぶ、未来へつなぐ直方の交通	④⑤
	小郡市(福岡県)	豊かな自然と、学びの環境あふれる味坂地区のにぎわいづくり～地域の特性を活かした地区再生に向けた取り組み～	④⑧
	嘉麻市(福岡県)	秀吉の陣羽織を地域でつなぐ街・嘉麻市の地方創生の取り組み ～住む人・来る人双方に愛されるまちづくり～	④⑧
	有田町(佐賀県)	「400年の歴史・文化を紡ぐ窯業の町・有田」～次の100年に向けた町と支援官の二人三脚～	①②
	対馬市(長崎県)	「対馬市 X 伴走支援 ～誰もが“行きたい場所に行ける島”を目指して～北部対馬から始まる、暮らしを支える小さな挑戦」	②⑤⑪
	南小国町(熊本県)	豊かな自然と温泉に恵まれた南小国町の未来を支える、住む人・訪れる人にやさしい移動手段のあり方を考える。	①⑤
	益城町(熊本県)	「住みたいまち、住み続けたいまち、次世代に継承したいまち」～熊本地震からの創造的復興のまちづくり～	④⑬
	津久見市(大分県)	みかん・セメント・野球のまち津久見の創生～第3期総合戦略策定を中心とした伴走支援～	⑧⑩
	西米良村(宮崎県)	「人口1,000人が笑う村」の持続可能な未来へ～課題山積、それでも明るく前向きな宮崎県西米良村の挑戦～	①③⑤
	鹿屋市(鹿児島県)	一次世代交流プログラムー「好き」を形に。「サイバー空間」が拓く、かのやの未来。	⑦⑪
	長島町(鹿児島県)	鹿児島県最北端、長島町の挑戦! ～鰯とじゃがいものまちの躍進・離島に架かる橋～	①③⑤
沖縄	知名町(鹿児島県)	うがみやぶらー! 沖永良部島「知名町」の豊かな未来に向けたシマスキな人々との協創～コミュニティ×教育×環境～	④⑥⑩
	今帰仁村(沖縄県)	ジャングリア沖縄が開業する人口9000人の「ゆがふむら」“素通り観光”からの脱却・産業振興・子育て世帯定住への道	①③⑫
	与那国町(沖縄県)	「最果ては、始まりでもある」最後まで日が沈まないまち・与那国の住宅不足解決や特長を活かした産業振興を通じて、日本が誇る素晴らしい伝統文化と魅力を継承し発展する国境のまちへ	②⑧

【政策分野 凡例】

①観光②産業振興③農林水産業④まちづくり⑤地域交通⑥環境⑦デジタル・未来技術⑧移住・定住⑨広報・シティプロモーション⑩教育・文化
⑪若者・女性活躍⑫子育て支援⑬復興⑭防災⑮医療・福祉・健康⑯中心市街地活性化⑰官民連携⑱人材確保⑲公共施設活用⑳生活環境

①美濃市(岐阜県)担当チーム

基本情報

- 人口: **18,784人**
(令和7年7月時点)
- 市長: 武藤 鉄弘

活動実績

- 現地訪問: 1回
- オンライン会議: 3回
- 販路開拓等 : 4回



野澤

地方創生支援官

※カッコ内は出向元省庁

- ①野澤 智明 所属 林野庁 国有林野部業務課 課長補佐
- ②森 俊貴 所属 環境省 環境省 大臣官房秘書課 課長補佐
- ③尾関 理帆 所属 内閣府 政策統括官(原子力防災担当)付参事官(総括担当)付 主査(経済産業省)



森



尾関

市の課題

○美濃和紙の新たな展開を通じた地域経済の活性化

- ・正倉院所蔵最古和紙、徳川家康軍配、伝統的工芸品、ユネスコ無形文化遺産。書院紙はじめ日本有数の産地。**手すき工房は15**。機械すき和紙メーカーも多数。
- ・**高品質を求める底堅い需要**はあるが、需要減、後継者不足、**生産量の減少、販路の固定化**等に直面。
- ・美濃和紙あかりアート展、ブランド化、東京五輪賞状制作などで新たな需要創出を試み、少しずつ芽が出て後継者の参画もあるが、**高価格帯となる手すき和紙の主軸を担える新たな展開方法の確立**が課題と受け止め。
- ・**和紙振興を地域活性化に繋げる**経路検討も道半ば。

支援の流れ

○美濃和紙の現状分析と課題の共有

美濃和紙をめぐる事情及び東京・名古屋における需要について**定量的な調査・分析**を行い、美濃和紙職人・美濃市内和紙販売店に情報提供するとともに意見交換を行い、それぞれの課題の共有を図る。

○新たな美濃和紙の活用

東京を中心に、**美濃和紙の新たな活用法に繋がる人材や販路開拓を実施**、生産者と**マッチング**。また、岐阜出身の在外公館大使に美濃和紙製品を**要人への贈呈品**として選定するように働きかけ。

○外部を含めた多様な視点からの地方創生支援

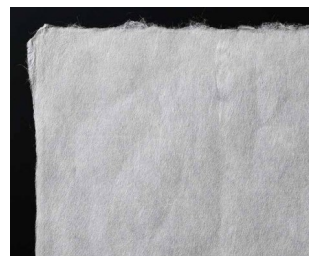
伝産法の担当などへのヒアリングを踏まえ、広い視点からの地方創生について、美濃市に助言。

生産



美濃手すき和紙の生産
出所: 美濃手すき和紙協同組合

底堅い需要



書院紙



落水紙



文化財修復のイメージ(出所: 日経新聞)

新たな展開



美濃和紙あかりアート展 出所: 美濃市観光協会



東京オリンピック表彰状 出所: 中日新聞



水うちわ

○支援官の成果

東京・名古屋の和紙・和紙製品
販売小売店において、
美濃和紙・美濃和紙製品の年間
需要見通しを調査(一部予定)

※本美濃紙の販売価格の例 1,500円/枚(A3程度)

和紙×観光・体験・暮らし



美濃和紙を活用した古民家ホテル

和紙×地域資源・文化



うだつの上がる町並み

出所: 美濃市観光協会



清流 長良川



国内外へ日本の伝統工芸品等の魅力を発信

出所: 東京の企業等

COCO JAPAN

支援官の成果

美濃市及び美濃手漉き和紙協同組合
と東京の企業等をマッチング

今後、東京でのプロモーション活動に
向けた契約に結び付く可能性あり

これまで美濃市在外問わず官民の様々な組織の方(※)と意見交換を実施。
意見交換では様々な意見をいただいたものの、以下のような意見が多かった。

(※)経済産業省、大使館、岐阜県庁、和紙販売店、県アンテナショップ、ホテル業等

①付加価値創出

- ・和紙そのものを売ることにには限界があり、現地に来てもらい工房見学を組むなどの「そこでしか手に入らない価値」を提供し、地域全体にお金を落としてもらうことが大切。

②時代の変化への対応、マーケットイン

- ・時代の変化を踏まえた商品展開＝デザイン、コーディネータ
- ・職人のマーケティング意識の醸成

③他の地域資源との連携・コラボ

- ・岐阜県内には岐阜提灯や岐阜和傘など和紙を使った伝統的工芸品があるものの、実態として美濃和紙はあまり使われていない。岐阜県内の伝統的工芸品のコラボレーションはできないのか。

今後も意見交換を続け、様々な方からの意見を取りまとめて、
12月現地訪問時に、美濃市関係者に報告・提言を予定。

打合せの様子



②吉野町(奈良県)担当チーム

基本情報

- 人口:5,691人
(令和7年7月末時点)
- 町長:中井 章太

活動実績

- 現地訪問:1回
(6/19-20)
- オンライン会議:3回
(4/30、5/28、8/7)



左から、②関口、中井町長、①伊賀本、③望月



地方創生支援官

※カッコ内は出向元省庁

- ①伊賀本 雅義 国土交通省 大臣官房会計課 課長補佐
- ②関口 訓央 内閣府 政策統括官(経済財政運営担当)付 参事官(産業・雇用担当) (経済産業省)
- ③望月 千春 国税庁 金沢国税局 総務部長

人口減少の現状

- 消滅可能性自治体(若年(20-39歳)女性人口が2020年から2050年までの30年間で50%以上減少する自治体)
744自治体のうち、減少率が最も高い市町村の第8位(▲84.9%) (2014年時点では第11位)
(出典:「地方消滅2」人口戦略会議編著、中公新書、2024年)

【参考】春の吉野山全景(上)と「吉野町シティプロモーション戦略」(下)(吉野町HPより)



挑戦の地、吉野

Yoshino Town Promotion WebSite

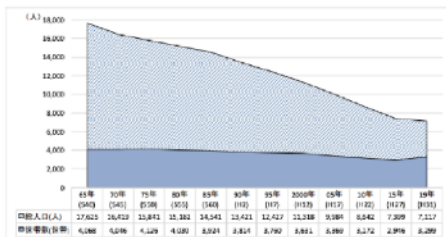


「挑戦の地、吉野」



1) シティプロモーションの定義及び達成ビジョン

- シティプロモーションの定義
 - まちを持続的に発展させるための関係人口獲得
- 達成ビジョン
 - 吉野町の持続的な発展の実現
 - まち・ひと・しごと創生総合戦略で掲げる人口ビジョンの達成



▼吉野町の人口は減少傾向にある。持続的な発展の実現するための取り組みが必要である。

▼総人口数推移
 2000年 11,318人
 2005年 9,984人
 2010年 8,642人
 2015年 7,399人
 2020年 6,579人
 2024年 5,964人
 * 住基人口より

▼模式図

2) 現在のビジョン達成の阻害要因

- 簡易的に居住・宿泊できる物件が少ない
- 限られた財源内で居住・宿泊場所の完全な整備が難しい

吉野町の産業に従事する人材や、宿泊を伴う観光誘客など、様々な面での制限が発生する。

3) 戦略実行手順

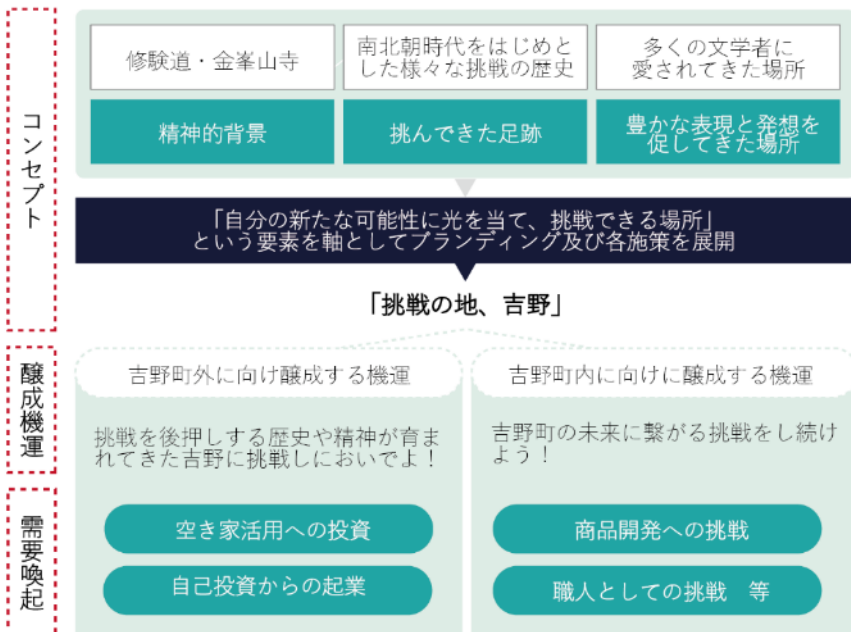
自治体吉野としてのブランド力を強化し、外部からの投資を促すことで、段階的に吉野町の持続的な発展の実現を目指す。

町の持続的な発展を促進するための土台を整える施策

移住・定住人口の獲得施策

まちの持続的な発展の実現

4) シティプロモーションのマーケティング戦略基本方針



現在実施されている施策とコンセプトを関連付けることで、コンセプトを具体化する。

- ・「ON・OFFのまち吉野」企業等応援補助金
- ・特定創業支援事業
- ・奈良県経営まるごと支援ネットワーク
- ・奈良県事業承継支援ネットワーク
- ・吉野町定住促進空き家改修事業
- ・吉野町移住支援金
- ・吉野町空き家流動化対策補助金

5) 効果的な実施における考え方

- 部署を横断したマーケティング戦略の実行
 - 各部署を横断での相乗効果により吉野町全体として発展をさせる吉野町全体として統一イメージの構築
 - リソースの集約
- ペルソナ及びブランドパーソナリティの設定
 - 統一したイメージの形成による吉野町内へのイメージ構築

現状・課題

簡易的に居住できる物件が少ない
 また、限られた財源内での完全な整備が難しい

現状・課題に対する対応策

吉野町外から吉野町への投資機運醸成

吉野町内に存在する空き家への投資

廃屋化した
空き家の資産化

観光資源の最大化

賃貸

宿泊
(ゲストハウス需要等)

関係人口拡大

観光

生産人口を主体とする移住者増加

資金流入量増加
吉野町に対する

旅行関連産業の拡大

宿泊を伴う旅行客の増加

吉野町の持続的な発展の実現

【参考】町の中心地を起点としたまちづくり(上市・吉野地区)①

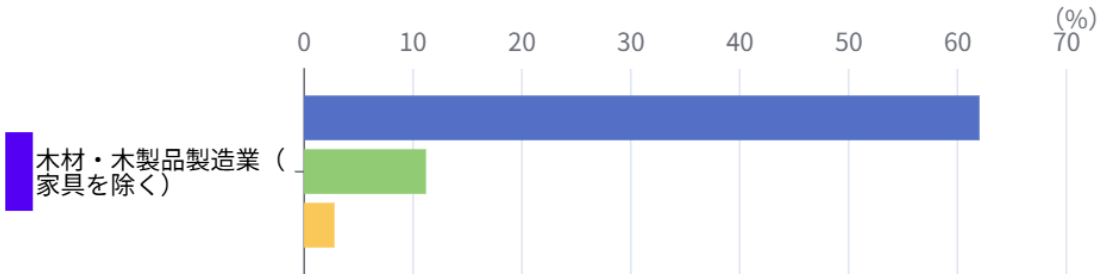


【参考】町の中心地を起点としたまちづくり(上市・吉野地区)②



【参考】木材・木製品製造業の現況

製造業事業所に占める割合



産業構成割合（E 製造業）

2021年
事業所数

吉野町： 142事業所
奈良県： 4,228事業所
全国： 412,617事業所

RESAS「産業構造分析」より

○木材・木製品（製材、合板・集成材、木材チップ、その他の木製品）の販路（上位10部門、500億円以上）

2020年	(億円)	(00年比、%)
国内生産額	23636	▲ 25.2
建築	16946	▲ 27.1
木材・木製品	3875	▲ 16.3
建設補修	2364	87.9
パルプ・紙・板紙・加工紙	2086	▲ 27.0
家具・装備品	1986	▲ 48.1
その他の製造工業製品（雑貨）	983	▲ 4.4
電気（バイオマス含む）	726	N/A
商業（卸・小売）	646	▲ 11.2
運輸付帯サービス（こん包含む）	597	▲ 32.5
民間消費支出（家計消費）	500	▲ 16.1

2000年	(億円)
国内生産額	31612
建築	23258
木材・木製品	4630
家具・装備品	3830
パルプ・紙・板紙・加工紙	2857
建設補修	1258
その他の製造工業製品（雑貨）	1028
運輸付帯サービス（こん包含む）	885
商業（卸・小売）	727
民間消費支出（家計消費）	596
公共事業	555

※生産者価格ベース、各部門への販売額の合計と国内生産額は一致しない。

出典：2020年産業連関表、2000年産業連関表から作成

【町の課題と支援の流れ】

町の課題

○町の中心地を起点としたまちづくり

吉野町の中心地である「上市」・「吉野」地区を起点として拠点を形成し、人の流れを創出する。

○各地区の拠点間を結ぶ地域交通の整備

町の各地区に拠点を形成し、拠点間を結ぶ地域交通を整備し、人と経済の循環を促進する。

○民間活力の導入と関係人口の創出

近鉄吉野線沿線の活性化など、民間活力の導入等により、関係人口を創出することで、昼間人口を確保する。

→特に、移住・定住人口の獲得につながる施策を重視

支援の流れ

○現状把握、課題整理(4月～6月)

オンライン会議、現地視察等を通じ、町の自然・文化・産業面の豊富な資源や抱える課題について把握・整理。

○優先的に対応する課題の決定(7～8月)

町の中心地等のまちづくりとシティプロモーション戦略の加速化のため、空き家の利活用促進と移住創業者の更なる誘致等に優先的に取り組むことを決定。

○課題解決のための具体的な取組(民間企業との連携等)(9月以降)

吉野町に関心を持つ企業等と連携し、町の活性化に向けた意見交換、具体的方策の検討・調整を実施予定。

③鹿屋市(鹿児島県)担当チーム

基本情報

- 人口: 97,720人
(令和7年9月1日時点)
- 市長: 中西 茂

活動実績

- 現地訪問: 2回 (5/14-15、8/27-29)
- 東京での会議: 1回 (6/4)
- 事業者等との意見交換会: 6回 (8/6、8/19、8/26、8/28、9/26、10/1)
- オンライン会議: 8回 (4/21、5/28、6/19、7/16、7/30、8/15、9/9、9/24)

地方創生支援官

- ①松田 圭太 総務省大臣官房企画課サイバーセキュリティ・情報化推進室長
- ②森 麻利子 文部科学省敦賀原子力事務所長
- ③藤井 文斗 防衛省人事教育局給与課給与制度班給与制度第2係長

市の課題

○人口減少、移住・定住、若者・女性の活躍

・2000年の106,462人をピークに人口減少が続いており、若者・女性も進学・就職を機に市外に転出している。それに伴い2007年に1,122人あった出生数も去年は700人を割った。地域における担い手不足などへの影響の深刻化が懸念される。

・進学等で市を離れても、若者とつながり続け、就職などを機に戻ってくることのできる環境整備、また起業家、テレワーカーなど市への移住希望者が確実に移住できる環境整備を行うことで、若者・女性の活躍を後押しすることが急務。

支援の流れ

「一次世代交流プログラムー「好き」を形に。「サイバー空間」が拓く、かのやの未来。」に向けて

○地元関係者との意見交換・訪問(4月～)

・移住者や女性起業家の方々と意見交換・訪問を行い、鹿屋市ならではの魅力、働き方、行政支援などについて洗い出しを行うとともに、首都圏に移住した若者とも意見交換を行い、その魅力、市の改善すべき点などを整理した。

○テーマの特定(7月～)

・整理した課題の中から、「若者・女性に選ばれるまちへ」という大きなミッションのもと、サイバー空間を活用した、「若者とのつながり、つながり続けること」を念頭に、各種事業、コンテンツ、イベントなど企画立案中。



KANOYeah! CITY



左から①松田、②森、中西市長、③藤井

鹿屋市在住・出身者との意見交換

市在住の移住者・女性起業家と意見交換(5月14日)

- 子育てをするには家の広さや移動時のストレス等から**地方がよい**。
- 鹿屋の若者に対して**起業という自分のやりたいことを突き止めていくことの大切さを伝えたい**。起業よりも継続が難しいのでそのサポートが欲しい。
- 親の介護で鹿屋に戻らざるを得なかったが、フルリモートできる環境が決断させた。**(転職なき移住(フルリモート)が望ましい)**



市長と鹿屋市出身の在京女性との意見交換(6月4日)

- **鹿屋の情報が届いていない**。鹿屋市の情報発信についてターゲットに応じてツールを使い分ける必要がある。
- ヨシロットン(グラフィックデザイナー)など**芸能人以外にも鹿屋にゆかりがある人とコラボレーション**したほうがいい。
- 都市部の方が多様な経験を積むことができ、選択肢も多い。



かのや女性会議(8月27日)

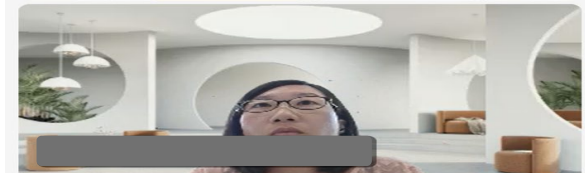
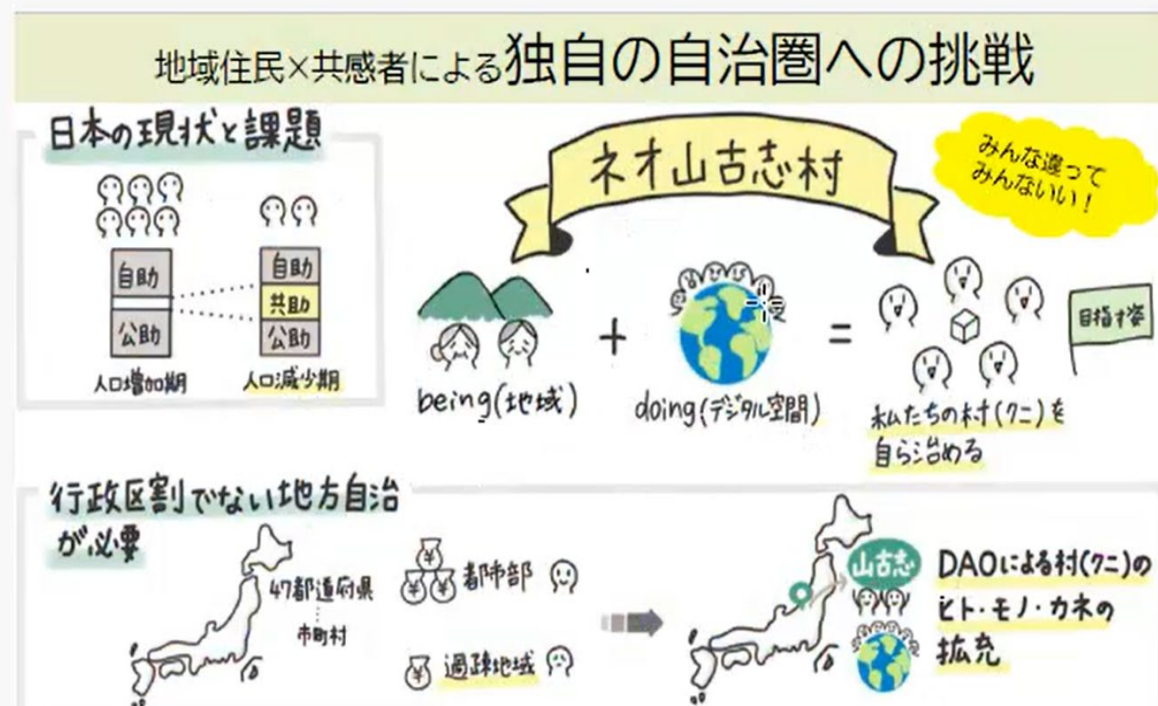
- 市役所が信頼のおける**オンラインコミュニティを設置**して欲しい。
- 面白いこと、チャレンジすることに対して行政からの承認やサポートがあればやりやすい。
- 年代別の「大規模同窓会」や「おかえりなさい会」という企画も面白いと思う。



先行自治体(地域)との意見交換

新潟県長岡市山古志地区(山古志DAO)と意見交換(8月19日)

- ・デジタル空間の中では、コミュニティマネージャーがメンバーとのやり取りを行う他、リアルとオンラインのハイブリッドのイベントの企画・実施し、**リアルとデジタル双方の活性化**を図っている。
- ・デジタルだけでなく、地域の運動会のパン食い競争のパンを準備するために、**デジタル住民が遠方から山古志に来て手伝うなど、リアル住民とデジタル住民がつながり良い関係**になっている。
- ・デジタル住民は、98%がゆかりがない人であるが山古志地区に愛(想い)がある方が多く、**地域をよくしていきたい提案を行い実行したり、定期的に山古志地区を訪問している。デジタル住民の方が山古志に来た際、我々(住民)は「おかえり」と言い、デジタル住民は「ただいま」と言い、迎えている。**



現状の課題の整理と解決の方向性

As・Is(現状・課題)

- 進学・就職などで市を離れた若者とつながりが限定的である。
- 都市部に市の情報が届いていない。
- ゆかりのある人とコラボレーションするなど、参加しやすいイベントがあるといい。
- 都市部の方が選択肢が多く、若者の夢の実現可能性高い。
- リモートによる転職なき移住が望ましい。



To・Be(理想・方向性)

- 市を離れてもつながりを絶やさない仕組みを構築。(デジタルが有効)
- 出身者の属性情報を活用し、セグメント別の情報発信。
- リアルだけでなくデジタルも活用し誰でも簡単に参加でき、活気あるイベントを創出。
- 鹿屋での若者・女性の夢を実現するための環境整備やサポートの充実。
- 戻りたいまち住みたいまちの環境整備

デジタルプラットフォーム『かのやコネクト』(仮称)

- 鹿屋市**出身者/応縁者等**とつながるため**デジタル住民票**の発行(企業はデジタル法人登録)
- デジタル鹿屋市にコミュニティを創設し、**リアルとバーチャルで鹿屋市(市民・行政等)とデジタル住民がつながり続ける**
- 持続的なつながりが**出身者が「戻りたい」、応縁者が「住みたい」と感じるまちづくりを加速**

出身者・応縁者とつながる

●デジタル住民票の発行

《技術》

- ・かのやID付与
- ・NFTによる特別感や所有欲刺激

《ターゲット》

- ・高校、大学卒業者、ふるさと会会員など出身者

※毎年1,300人の卒業生が新規会員

- ・企業から鹿屋支店の出向者やふるさと納税者などの応縁者 等

※鹿屋市民についても発行

※ふるさと住民登録制度の活用を視野に

●デジタル法人登録

- ・デジタル鹿屋市上で商業活動も可能

つながり続ける

●パーソナライズされた情報発信

- ・ライフステージに応じた情報の発信(就活、子育て、移住支援 etc.)

●デジタルコミュニティの創設

- ・VR空間を活用、行政手続きも可能なデジタル鹿屋市
- ・コミュニティマネージャーを配置し、活性化を加速

●リアル×バーチャルイベントの実施

- ・コミュニティの活性化、地域魅力の再発見。新たな応縁者の創出
(例)
「メタバース婚活(次頁参照)」、「かのやオンライン部」、「リナかる(サブカルチャイベント)」「ヨシロットン(グラフィックアーティスト)」との連携 等

戻りたいまち住みたいまち

●若者・女性の「夢」の実現

- ・夢の種プロジェクト(市民とデジタル住民による政策提案・実行)
- ・行政、商工団体、観光協会、NPO、金融機関、フリーランスなどオール鹿屋で夢の実現を後押し

●自然と最先端のテクノロジーが融合したまち

- ・デジタルと地域資源を最大限活用し「デジタルリノベーション」を促進(夢の種プロジェクトも実現)

(例)

- ・AIを活用したマッチング型就職支援
- ・VRを活用した移住体験 等

出身者や女性のUターン促進/応縁者等の増

(参考) かのやメタバーズ婚活

対象者 **20~39歳**の独身男女
(結婚後に鹿屋市で暮らす意欲のある方)

参加費 **2,000円** (税込)
※パートナーシップ診断付き

募集人数 **20人** (男女各10人)
(※応募多数の場合は抽選)

お申し込みはこちら
申込期限: 6/26

point 01 内面重視の婚活ができる

point 02 デジタル仲人が安心サポート

point 03 ご自宅PCから参加OK!

※メタバーズのご利用にはPC(Windows/Mac)に「パーソルマーケティングシティ」のインストールが必要です。

お問い合わせ 主催: 鹿児島県鹿屋市 運営事務局: パーソルイノベーション株式会社

ミツバ事務局 mitsuva-support@persol-innovation.co.jp

概要

- ・7月12日にメタバーズ上で実施。各人アバターで音声によるコミュニケーション。
- ・男性10人、女性8人参加。(男性は応募多数のため抽選。千葉県からの参加者あり!)
- ・当日8組のカップル成立。リアルデート6組実施!
- ・後日鹿屋市でリアルデートを実施。(市からはカフェクーポンをプレゼント。県外から鹿屋市への移動は移住支援部署と連携し、移住体験制度などをご案内)

参加者の声

<女性>

- ・姿が見えない状態で出会えることで安心できた。(地元での婚活は知人に会ったらどうしようと思っている)
- ・対面で反応が分からない分、相手の話に集中できた。
- ・メタバーズ空間では、自身の身だしなみを気にする必要がなく気楽だった。
- ・自治体の移住サポートもありよかった。

<男性>

- ・対面と違い、内面の良さを見ている感じがした。
- ・新鮮で楽しかった。
- ・現地に足を運ばなくても、遠くの人と簡単に交流できてよかった。
- ・イベント後も相手との交流にワクワクして過ごせた。年齢差を感じず、リアルで会うのが楽しみ。

今後のスケジュール(下半期の支援)

かのやコネクトの実装に向け、下半期は以下の支援を実施。

- 関係省庁、事業者(ベンチャー企業を含む)との意見交換
- オール鹿屋での実施に向け市内の各種団体への説明・調整
- 新地方創生交付金の活用を念頭に今後の事業計画の策定 等

出身者・応縁者をつながる

未来への飛躍

- ・高校3年生、大学4年生へのアプローチ
- ・応縁者(応縁企業)の発掘
- ・ふるさと住民登録制度の担当者との意見交換

つながり続ける

持続する絆

- ・デジタルコミュニティ設置に向けた検討(コミュニティマネージャーの活用等)
- ・VR等を活用したプレイベントの企画・立案
(メタバース婚活は引き続き実施)

戻りたいまち住みたいまち

魅力あふれる
鹿屋

- ・オール鹿屋での実施に向け各種団体との調整
(必要に応じて協議会の設立)
- ・IT企業・ベンチャーを含む最新の技術やソリューションなどの情報収集や意見交換